

課題調査部会における意見整理

第1回課題調査部会（11月6日）

目標の設定

わかりやすさとインパクト
多様な区民が取り組める目標

メッセージの発信と仕組みの継続

活動の上での共通の目標

ターゲット

地域の不動産やコンビニ、企業

子ども（親も参加する）

町内会から子ども会や老人会、学校やPTAなどにも浸透

地域やイベントに参加しない人たち 特に単身の若い世代など。

集積所のルールを守らない方

課題

学校で盛んな環境教育と地域をつなげる取組。
地域で大人と共有・実践。参観日など狙う。

意識改革（地域の課題に自ら取り組む意識へ）

集積所のマナーや環境改善
ごみを分別排出しやすいしくみづくり

まちをきれいにするためにできること（ごみ問題に限らない）をやる。

ごみ出しが難しい人、分別が理解できない人（高齢者・障がい者・外国籍市民など）の支援

既存の市民活動の知名度向上・PR

再資源化のしくみや効果、分別法の広報強化

発展・強化したい既存の取組 新たな取組

廃棄物減量指導員による分別指導

フロンターレ選手起用や、後援会のネットワークを活かした広報

町会によるフリーマーケット

「フロンターレで毎日元気いっぱい!! 推進事業」
「正しい生活リズム」人形劇

「CG等々力 エコ暮らしフェア」 試合会場周辺でエコ体験

3R 推進キャンペーン 川崎純情小町☆の活用

転入者に向けた広報強化 Web 情報等の充実

集積所再配置による環境改善

不動産と連携した情報発信

活動情報の冊子化、合同勉強会や団体間等のネットワーク化

アンケート調査で現場の工夫や課題を調査

取組提案検討の方向性(案)

① 啓発・ルールづくり、意識改革の取組 ② 学校と地域、環境教育の取組 ③ イベント・キャンペーン・周知の取組

第2回課題調査部会（12月8日）

提案検討のポイント(ここをねらおう！)

子どもを通じた働きかけをしよう！
親も参加。みんな笑顔。未来へ。注意も言いやすく。

啓発はわかりやすさ・実行しやすさ重視！
制度・仕組みがわかりにくく、取組の宣伝も下手。習慣付けや、活動の継続化を目指す。

地域一体で取り組もう！
企業や商店、学校、町会…地域の多様な主体と連携

達成目標を設定しよう！
資源化率や動員数などの数値で具体的にする。

中原区の資源を活かそう！
川崎フロンターレ、人形劇団ひとみ座、グランツリーなどは中原区だけの財産。＝「中原区らしさ」

取組のアイデア

モデル集積所
分別を見て・触って学べる場で啓発。きれいな集積所のお手本

人形劇での啓発事業
生活習慣啓発事業をごみ分別バージョンで実施

集積所の絵や分別標語コンテスト
キャンペーン一環として、関心喚起や美化効果をねらう。

啓発映像の作成・活用
映像等。インパクト、わかりやすさのあるもの

楽しみながら学習&実践
スポーツごみ拾い、分別クイズやゲームなど、親子で楽しむ

認定や検定 分別名人の育成
分別や再資源化に関する検定合格者→表彰→地域での普及者

既存活動の拡大・連携
(キャンペーン・イベント)
NPO 小杉駅周辺エリアマネジメントの活動の拡大、既述のゲームや体験等一緒に行うイベント。

ごみ以外のエコ・きれいなまちづくり活動

5W1H形式でまとめへ

WHY なぜ(目的・ねらい)
WHO 誰に向けて、誰が
WHEN いつ
WHERE どこで
WHAT 何を
HOW どのように

意見を分類

情報・啓発
➢ 普及・啓発、指導・支援 など
実践
➢ イベント・体験、キャンペーン など
その他
➢ ごみ以外のエコ・きれいなまちづくり活動

資料2の意見まとめへ